２０２６年７月１日
株式会社　岩手銀行

ＡＩポリシーの制定について

岩手銀行（頭取　岩山　徹）では、ＡＩの利活用を全行的に推進するうえでの基本原則として、「ＡＩポリシー」を制定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．制定の主旨

ＡＩは、業務の効率化・高度化、お客さまへの提供価値の向上および新たな金融サービスの創出につながる重要な技術であり、今後の当行の競争力強化と地域社会への価値提供を支える重要な経営基盤の一つであると認識しております。

一方で、ＡＩには、誤情報の生成、情報漏えい、判断の偏り、説明の難しさなど、従来のＩＴとは異なる特有のリスクも存在します。

こうしたことを踏まえ、当行では、ＡＩの便益とリスクの両面に適切に対応しながら、役職員等が共通の考え方のもとでＡＩを安心かつ適切に活用できるよう、ＡＩ利活用に関する基本原則として「ＡＩポリシー」を制定いたしました。

２．ＡＩポリシーの概要

当行のＡＩポリシーでは、以下の８つの基本原則を定めております。

（１）人間・尊厳の尊重
（２）信頼性の構築
（３）公平性・公正性の確保
（４）人による制御の確保
（５）アカウンタビリティの履行
（６）経験・情報の共有
（７）持続可能性の確保
（８）リテラシー向上及び教育

３．ＡＩポリシーの位置づけ

ＡＩポリシーは、当行におけるＡＩ利活用に関する最上位の基本原則を定めるものであり、ＡＩの導入、開発、提供および利用にあたっての全行共通の判断軸となるものです。

当行は、本ポリシーに基づき、リスクを適切に管理しつつ、ＡＩの積極的な利活用を進め、業務の効率化・高度化、意思決定支援、お客さまへのサービス向上および新たな価値創出の実現を目指してまいります。

以　上

【本件に関するお問い合わせ先】
総合企画部　畠（ハタ）　電話：019－623－1111（代表）

＜別　紙＞

ＡＩポリシー

岩手銀行は、「地域社会の発展に貢献する」「健全経営に徹する」という経営理念のもと、ＡＩを業務の効率化やサービス向上、新たな価値の創出につながる重要な技術と捉え、その活用を進めていきます。

一方で、ＡＩには、誤情報の生成、情報漏えい、判断の偏り、説明の難しさなど、従来とは異なる特有のリスクもあります。

こうした便益とリスクの両面を踏まえ、ＡＩを安心かつ適切に活用していくための基本的な考え方として、本ＡＩポリシーを策定し、遵守します。

１．人間・尊厳の尊重

多様な人々の尊厳が尊重され、well-being の追求が可能となるよう、利用者の意思決定・感情の操作並びに偽情報・誤情報・偏向情報への対策を講じるとともに、多様性、包摂性、アクセシビリティを確保します。

２．信頼性の構築

セキュリティ並びに安全性の確保、プライバシーの保護、生命・財産等の保護、法令遵守、正確な情報の適時利用を確実にするために、ＡＩ固有のリスクを考慮した信頼できる仕組みを構築します。

３．公平性・公正性の確保

特定の個人及び集団が不当な偏見又は差別を受けないようバイアスに配慮して、ＡＩを利活用します。

また、ＡＩをめぐる公正な競争環境の維持に努めます。

４．人による制御の確保

ＡＩが判断を行う際には、修正・棄却できるよう、必要に応じて人間の判断を介在させます。

５．アカウンタビリティの履行

ＡＩの判断プロセスや結果等、ＡＩの利活用について求められる説明責任を果たすため、透明性確保の措置を講じるとともに、ステークホルダーへ適切な情報提供を行います。

６．経験・情報の共有

高度かつ複雑であるＡＩの実効性をより高めるため、成否を問わず得られた技術・経験を共有し、社内外のイノベーション促進に努めます。

７．持続可能性の確保

ビジネス環境・法規制・テクノロジー等の変化に対応するために、最新の動向を把握しながら、ＡＩを利活用するシステムを継続的に改善します。

また、持続可能な社会の実現のため、地球環境への影響も配慮したＡＩの利活用に努めます。

８．リテラシー向上及び教育

ＡＩの適切な利活用を実現するために、ＡＩに関わる者およびステークホルダーへ、ＡＩの便益・リスク等の正しい理解を習得するための措置を講じます。

以　上